



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月1日

上場取引所 東大

上場会社名 フジッコ株式会社  
コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長 (氏名) 岩井 邦夫

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日 配当支払開始予定日

TEL 078-303-5921  
平成22年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	25,314	6.7	1,319	10.7	1,444	10.1	800	10.6
22年3月期第2四半期	23,732	△2.1	1,192	△5.5	1,312	△6.6	723	△7.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	24.99	—
22年3月期第2四半期	22.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	61,900	50,728	81.9	1,581.62
22年3月期	61,491	50,579	82.2	1,576.88

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 50,666百万円 22年3月期 50,516百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
23年3月期	—	15.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

23年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当14円00銭 記念配当1円00銭  
23年3月期期末配当金の内訳 普通配当14円00銭 記念配当1円00銭

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,200	1.5	3,100	3.3	3,350	2.7	1,900	7.5	59.31

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 34,991,521株 22年3月期 34,991,521株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 2,956,929株 22年3月期 2,955,656株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 32,035,536株 22年3月期2Q 32,234,345株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に耐久消費財を中心とした持ち直しの動きが見られますが、食品業界では、販売店の売上高は一進一退の動きとなっており、市場環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような状況下、当グループでは、市場ニーズに適した商品の開発・改善を進め、単身世帯の小容量へのニーズに応える「おかず畑プチデリ」シリーズを発売したほか、8月には主力商品である「おまめさんレギュラー」の砂糖を10%カットするリニューアルを実施し、また、食べきりサイズのおまめさんとなる「こだわり煮豆」シリーズを発売しました。

研究開発活動では、「黒大豆の生体内抗酸化作用を実証」「カスピ海ヨーグルトの風邪・インフルエンザに対する効果を確認」などの学会発表を行いました。

販売面におきましては、黒豆製品や「生姜こんぶ」の好調に加え、調味料としての使い方を提案することで塩吹昆布の「ふじっ子」が堅調に推移したほか、おかず事業として注力している包装惣菜の「おかず畑」や日配惣菜、独特の粘り食感が特徴の「カスピ海ヨーグルト」などが売上を伸ばしました。

製品分類別では、昆布製品、豆製品、そう菜製品、デザート製品が前年同四半期実績を上回り、その他製品はわずかながら前年同四半期実績を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は253億14百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は13億19百万円（前年同四半期比10.7%増）、経常利益は14億44百万円（前年同四半期比10.1%増）、四半期純利益は8億円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億9百万円増加し、619億円となりました。

資産の部では、流動資産が、前連結会計年度末に比べ12億8百万円増加し、268億1百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億99百万円減少し、350億98百万円となりました。これは主に建物及び構築物とソフトウェアの償却が進んだこと、投資有価証券の整理・売却を進めたことによるものです。

負債の部では、流動負債が、前連結会計年度末に比べて3億54百万円増加し、91億74百万円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて94百万円減少し、19億96百万円となりました。

純資産の部では、純資産合計が、前連結会計年度末に比べ1億49百万円増加し、507億28百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.2%から81.9%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ13億28百万円増加し、124億55百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を13億97百万円、減価償却費を11億27百万円計上する一方、未払金の減少が1億22百万円、法人税等の支払

いが7億38百万円ありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは、17億43百万円の収入となり、前年同四半期に比べ4億72百万円収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に投資有価証券の売却による収入を1億23百万円計上しましたが、有形固定資産の取得による支出が5億96百万円ありました。この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは、5億48百万円の支出となり、前年同四半期に比べ2億78百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、1億33百万円の収入(前年同四半期は9億98百万円の支出)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初(平成22年3月期決算発表時)の予想どおり推移すると見込んでおります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 【簡便な会計処理】

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 【会計処理基準に関する事項の変更】

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### 【表示方法の変更】

（四半期連結損益計算書関係）

第1四半期連結累計期間から平成20年12月26日公表の「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会企業会計基準第22号）に基づき、平成21年3月24日に公布された「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」（内閣府令第5号）を適用し、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,755	11,427
受取手形及び売掛金	7,555	7,469
商品及び製品	711	643
仕掛品	470	382
原材料及び貯蔵品	4,593	5,050
繰延税金資産	305	368
その他	409	252
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	26,801	25,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,243	28,989
減価償却累計額	△18,845	△18,440
建物及び構築物(純額)	10,398	10,549
機械装置及び運搬具	19,205	18,854
減価償却累計額	△15,889	△15,542
機械装置及び運搬具(純額)	3,316	3,311
工具、器具及び備品	1,763	1,729
減価償却累計額	△1,423	△1,375
工具、器具及び備品(純額)	339	353
土地	13,441	13,455
建設仮勘定	132	240
有形固定資産合計	27,628	27,910
無形固定資産		
ソフトウェア	1,316	1,527
その他	124	111
無形固定資産合計	1,441	1,638
投資その他の資産		
投資有価証券	4,332	4,801
長期預け金	745	726
繰延税金資産	782	638
その他	199	212
貸倒引当金	△31	△31
投資その他の資産合計	6,029	6,348
固定資産合計	35,098	35,898
資産合計	61,900	61,491

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,952	3,887
短期借入金	939	252
未払金	2,726	2,830
未払法人税等	530	752
未払消費税等	155	203
賞与引当金	438	449
預り金	223	230
その他	209	215
流動負債合計	9,174	8,820
固定負債		
長期借入金	313	417
繰延税金負債	4	5
退職給付引当金	1,243	1,248
役員退職慰労引当金	435	419
固定負債合計	1,996	2,091
負債合計	11,171	10,911
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,302	7,302
利益剰余金	40,024	39,672
自己株式	△3,189	△3,188
株主資本合計	50,703	50,352
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△37	163
評価・換算差額等合計	△37	163
新株予約権	61	62
純資産合計	50,728	50,579
負債純資産合計	61,900	61,491



## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	23,732	25,314
売上原価	14,847	15,587
売上総利益	8,885	9,726
販売費及び一般管理費	7,693	8,406
営業利益	1,192	1,319
営業外収益		
受取利息	20	14
受取配当金	56	57
その他	60	63
営業外収益合計	138	135
営業外費用		
支払利息	16	8
その他	2	2
営業外費用合計	18	10
経常利益	1,312	1,444
特別利益		
投資有価証券売却益	0	33
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	—	0
特別利益合計	0	33
特別損失		
固定資産処分損	11	18
投資有価証券売却損	—	52
投資有価証券評価損	7	8
その他	0	—
特別損失合計	19	80
税金等調整前四半期純利益	1,292	1,397
法人税、住民税及び事業税	540	548
法人税等調整額	28	48
法人税等合計	568	597
少数株主損益調整前四半期純利益	—	800
四半期純利益	723	800

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,292	1,397
減価償却費	1,216	1,127
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9	△5
受取利息及び受取配当金	△77	△72
支払利息	16	8
固定資産処分損益(△は益)	11	18
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	19
売上債権の増減額(△は増加)	△309	△85
たな卸資産の増減額(△は増加)	385	300
仕入債務の増減額(△は減少)	255	65
未払金の増減額(△は減少)	6	△122
未払消費税等の増減額(△は減少)	112	△47
預り金の増減額(△は減少)	7	△6
その他	△148	△170
小計	2,764	2,415
利息及び配当金の受取額	70	69
利息の支払額	△13	△3
法人税等の支払額	△603	△738
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,216	1,743
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	800	300
有形固定資産の取得による支出	△713	△596
有形固定資産の売却による収入	2	6
無形固定資産の取得による支出	△37	△58
投資有価証券の取得による支出	△6	△13
投資有価証券の売却による収入	0	123
貸付金の回収による収入	0	1
その他	△16	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△269	△548
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400	730
長期借入金の返済による支出	△142	△147
自己株式の取得による支出	△5	△1
配当金の支払額	△451	△448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△998	133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	947	1,328
現金及び現金同等物の期首残高	10,089	11,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,036	12,455

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場の類似性から判断して同様・同系列の加工食品を専ら製造販売しております。従って、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

②所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

③海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高はありません。

(セグメント情報)

当グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場の類似性から判断して同様・同系列の加工食品を専ら製造販売しており、区分すべき事業セグメントの重要性が乏しいため、報告セグメントは単一となっています。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品分類	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		増減額	(参考)前連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
昆布製品	7,987	33.7%	8,369	33.1%	381	16,937	33.6%
豆製品	6,279	26.5%	6,588	26.0%	308	13,482	26.7%
そう菜製品	4,614	19.4%	5,280	20.9%	665	9,224	18.3%
デザート製品	2,813	11.8%	3,070	12.1%	256	5,009	9.9%
その他製品	2,036	8.6%	2,005	7.9%	△30	5,778	11.5%
合計	23,732	100.0%	25,314	100.00%	1,581	50,432	100.0%

(注) 増減額は、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との比較で表示しております。

第1四半期連結累計期間より、製品分類を変更しております。変更内容は、従来の「漬物製品」を「その他製品」へ含めており、また、「その他製品」の中のヨーグルト関連品を「デザート製品」としております。

前第2四半期連結累計期間及び前連結会計期間の実績は、変更後の区分に替えて表示を行っております。